

次世代米国代表株ファンド (為替ヘッジあり)

愛称：メジャー・リーダー
(ヘッジあり)

追加型投信／海外／株式



作成対象期間：2024年3月8日～2024年9月9日

第 30 期 決算日：2024年6月7日

第 31 期 決算日：2024年9月9日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、米国の株式を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざし、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行うとともに、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

| 第31期末 (2024年9月9日) | |
|----------------------|-----------|
| 基準価額 | 9,711 円 |
| 純資産総額 | 1,381 百万円 |
| 第30期～第31期 | |
| 騰落率 | -1.9 % |
| 分配金合計 ^(*) | 97 円 |

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期間の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

（投資環境についての考え方）

当期間においては、投資環境はインフレへの懸念が徐々に和らいだことにより、好転しているものの、インフレ自体は依然として高い水準にあり、金融政策の緩和方向への転換を促すには、経済指標などにてインフレの低下傾向が、なお継続的に確認される必要があると考えました。同時に、急速な利上げが、運行して景気を冷やすことによる景気後退リスクも完全に払拭されたわけではないと考えました。金融環境の好転により下値は限定的と考える一方で、2023年10月下旬以降の上昇ペースが速かったことなどから、いったん利益確定の売りがでることも予想され、上値は当面重いと想定しました。

このような環境下、成長が持続するかどうかを踏まえながら、中長期的に業績拡大余地の大きい優良成長株に投資を行いました。

（ポートフォリオの構築についての考え方）

当ファンドは、米国の株式を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざし、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30

銘柄に投資を行ってまいりました。主として米国の強みでもあるインターネット、医療システムの改革の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しました。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。

当期間は、適宜銘柄の見直しを行った結果、期間の初めと期間末では、情報技術業種において1銘柄が入れ替わりました。半導体メーカーである「ADVANCED MICRO DEVICES」について全売却し、同業界でより投資妙味が大きいと考えた半導体メーカーである「NVIDIA CORP」を新規買付しました。

また為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

このような運用を行いました結果、「UNITEDHEALTH GROUP INC」などの組入銘柄の値上がりが基準価額の上昇に寄与したものの、「ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A」や「MOBILEYE GLOBAL INC-A」などの組入銘柄の値下がりが基準価額の下落に影響したことから、基準価額は期間の初めに比べ1.9%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



株式運用部

ファンドマネージャー

柳原 武士

飯田 太郎

西 直人

安井 陽一郎

岡田 和晃

運用経過

第30期～第31期：2024年3月8日～2024年9月9日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



| | |
|-------|---------|
| 第30期首 | 10,000円 |
| 第31期末 | 9,711円 |
| 既払分配金 | 97円 |
| 騰落率 | -1.9% |

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ1.9%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

「UNITEDHEALTH GROUP INC」などの組入銘柄の値上がりが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

「ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A」や「MOBILEYE GLOBAL INC-A」などの組入銘柄の値下がりが基準価額の下落要因となりました。

※参考指数は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、円ヘッジ・円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2024年3月8日～2024年9月9日

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第30期～第31期 | | 項目の概要 |
|-------------|-----------|---------|---|
| | 金額 (円) | 比率 (%) | |
| (a) 信託報酬 | 82 | 0.812 | (a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数) |
| （投信会社） | (39) | (0.392) | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 |
| （販売会社） | (39) | (0.392) | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受託会社） | (3) | (0.028) | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 6 | 0.056 | (b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 |
| （株式） | (6) | (0.056) | |
| (c) 有価証券取引税 | 0 | 0.000 | (c) 有価証券取引税 = 作成期中の有価証券取引税 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （株式） | (0) | (0.000) | |
| (d) その他費用 | 1 | 0.007 | (d) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | (0) | (0.005) | 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 |
| （監査費用） | (0) | (0.002) | ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用 |
| （その他） | (0) | (0.000) | 信託事務の処理等に要するその他諸費用 |
| 合計 | 89 | 0.875 | |

作成期中の平均基準価額は、10,038円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

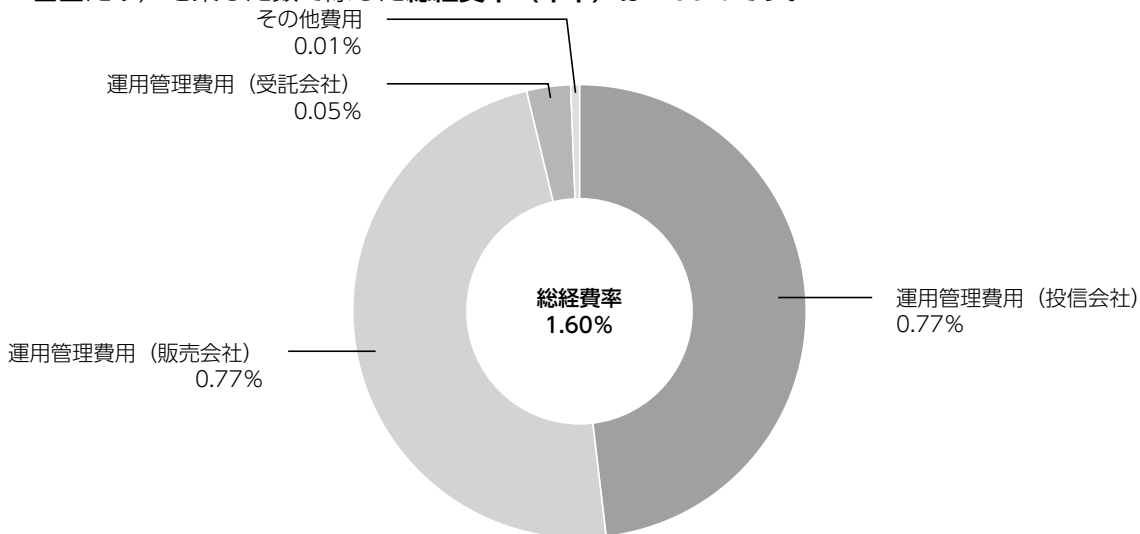
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.60%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

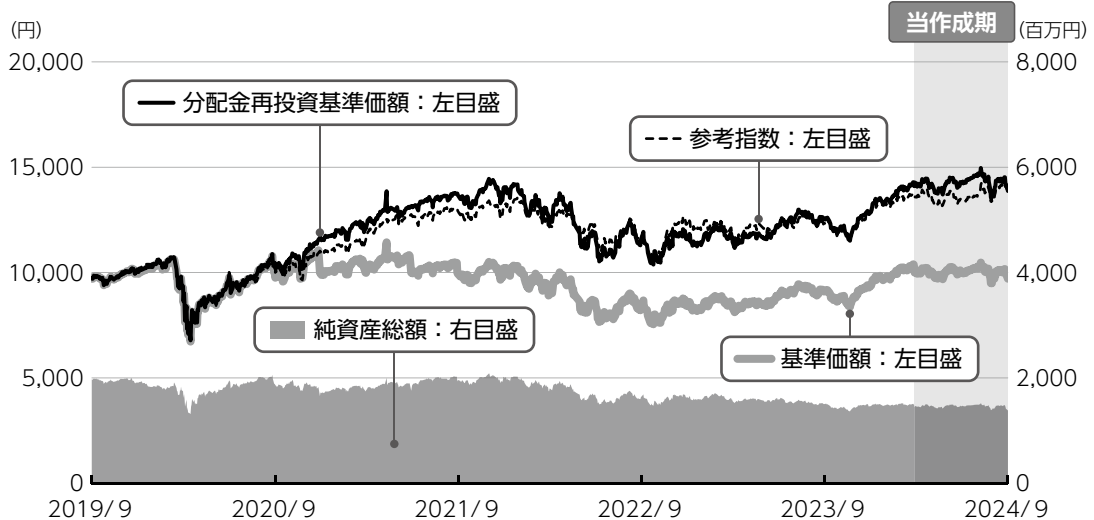
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2019年9月9日～2024年9月9日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2019年9月9日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

| | 2019/9/9 期初 | 2020/9/7 決算日 | 2021/9/7 決算日 | 2022/9/7 決算日 | 2023/9/7 決算日 | 2024/9/9 決算日 |
|-------------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 基準価額 (円) | 9,740 | 10,000 | 10,000 | 8,215 | 9,128 | 9,711 |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | — | 454 | 2,852 | 0 | 0 | 387 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 7.4 | 31.5 | -17.9 | 11.1 | 10.5 |
| 参考指数騰落率 (%) | — | 5.1 | 27.1 | -12.0 | 7.4 | 12.8 |
| 純資産総額 (百万円) | 1,973 | 1,879 | 1,932 | 1,596 | 1,506 | 1,381 |

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、円ヘッジ・円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第30期～第31期：2024年3月8日～2024年9月9日

投資環境について

▶ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

期間の初めから2024年8月初めにかけては、3月の消費者物価指数（CPI）の上昇率が市場予想を上回ったことなどを背景に利下げ期待が後退したことや、年初来の株式市況を牽引していた大型ハイテク株の調整が入ったことから、下落する局面があった一方、半導体大手エヌビディアをはじめとする企業の決算内容が

好感されたことや、4月以降の消費者物価指数などの経済指標がインフレ鈍化をうかがえる結果となったことを受けて長期金利が低下したことから上昇し、株式市況は期間の初めに比べほぼ横ばいの水準となりました。その後は、堅調な経済指標を背景に景気の軟着陸期待が高まったことから、株価は上昇し、期間の初めに比べ上昇にて期間を終えています。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 次世代米国代表株ファンド（為替ヘッジあり）

次世代米国代表株マザーファンド受益証券を通じて米国株式に投資を行うとともに、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかりました。

▶ 次世代米国代表株マザーファンド

米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。主として米国の強みでもあるインター

ネット、医療システム改革の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しました。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。

当期間においては、投資環境はインフレへの懸念が徐々に和らいだことにより、好転しているものの、インフレ自体は依然として高い水準にあり、金融政策の緩和方向への転換を促すには、経済指標などにてインフレの低下傾向が、なお継続的に確認される必要があると考えました。同時に、急速な利上げが、遅行して景気を冷やすことによる景気後退リスクも完

全に払拭されたわけではないと考えました。金融環境の好転により下値は限定的と考える一方で、2023年10月下旬以降の上昇ペースが速かったことなどから、いったん利益確定の売りができることも予想され、上値は当面重いと想定しました。このような環境下、成長が持続するかどうかを踏まえながら、中長期的に業績拡大余地の大きい優良成長株に投資を行いました。

適宜銘柄の見直しを行った結果、期間の初めと期間末では、情報技術業種において1銘柄が入れ替わりました。

また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、

株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。

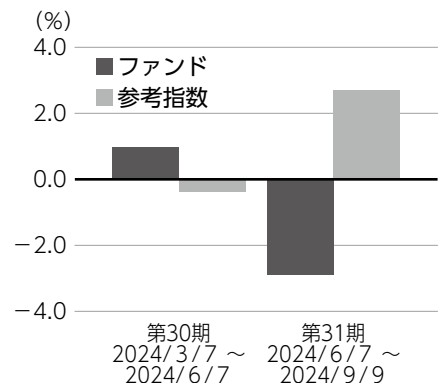
半導体メーカーである「ADVANCED MICRO DEVICES」について全売却し、同業界でより投資妙味が大きいと考えた半導体メーカーである「NVIDIA CORP」を新規買付しました。また、前期間末から当期間の初めにかけて実施していた一般消費財・サービス業種における銘柄の入れ替えの過程で、先進運転支援システムと自動運転システムの開発・展開を行う「MOBILEYE GLOBAL INC-A」を新規買付しました。

第30期～第31期：2024/3/8～2024/9/9

当投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数はダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、円ヘッジ・円換算ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

| 項目 | 第30期 2024年3月8日～2024年6月7日 | 第31期 2024年6月8日～2024年9月9日 |
|----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 当期分配金（対基準価額比率） | 97 (0.961%) | — (—%) |
| 当期の収益 | 95 | — |
| 当期の収益以外 | 1 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 541 | 541 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 次世代米国代表株ファンド（為替ヘッジあり）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

▶ 次世代米国代表株マザーファンド

インフレの鈍化を示す経済指標などから、2024年内の利下げ観測が強まっています。同時に、景気と企業業績は比較的堅調に推移しているなど、株式市況を取り巻く環境は好転しつつあると判断します。一方で、2024年の年初来、市況上昇の牽引役となった大型テクノロジー株が足元調整するなど、利益確定と見られる売りも見られ、需給面から市況の重荷となっています。当面は、このような好悪材料が拮抗する状況が予想され、下値は限定的であるものの、現行水準からの上値もまた重いと考えます。

米国特有の大きなイノベーションが起きている分野に注目して、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。景気や金利の動向についての不透明感は、完全には払拭されていない状況ですが、マクロ動向の如何にかかわらず、イノベーションなどの

中長期的な投資テーマに変化はないものと考えます。現在は、米国の強みでもあるインターネットとそれに伴う消費関連分野、人工知能（AI）を含むソフトウェアとそれを支える半導体、ヘルスケア領域における先進的な医療など、中長期的に妙味があると考えられる領域で事業を行う企業の成長に注目しています。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応し続けている優良企業にも目を配っています。投資対象銘柄の中長期的な成長余地は大きいと判断しています。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

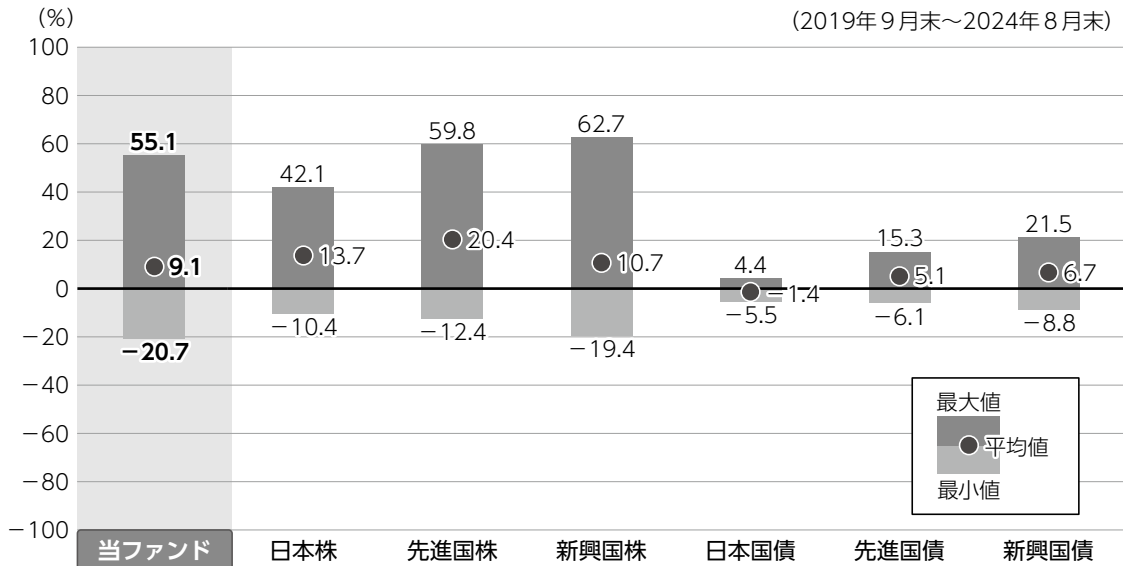
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufig.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 |
| 信託期間 | 無期限（2016年12月7日設定） |
| 運用方針 | 次世代米国代表株マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託会社が判断した企業の株式に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。 |
| 主要投資対象 | <p>■当ファンド 次世代米国代表株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■次世代米国代表株マザーファンド 米国の株式を主要投資対象とします。</p> |
| 運用方法 | 米国の株式を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざします。 |
| 分配方針 | 経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。） |

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2019年9月から2024年8月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

| | |
|------|--------------------------------|
| 日本株 | 東証株価指数（TOPIX）（配当込み） |
| 先進国株 | MSCI コクサイ・インデックス（配当込み） |
| 新興国株 | MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み） |
| 日本国債 | NOMURA-BPI（国債） |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス（除く日本） |
| 新興国債 | JPMorgan Global Diversified |

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2024年9月9日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

| ファンド名 | 第31期末 2024年9月9日 |
|-----------------|--------------------|
| 次世代米国代表株マザーファンド | 97.2% |

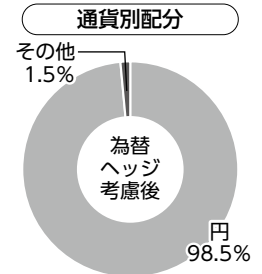
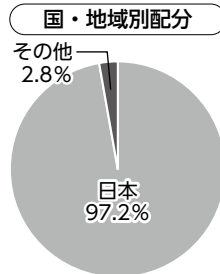
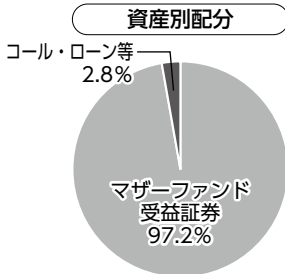
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

| 項目 | 第30期末 2024年6月7日 | 第31期末 2024年9月9日 |
|----------------|--------------------|--------------------|
| 純資産総額 (円) | 1,460,590,474 | 1,381,601,477 |
| 受益権口数 (口) | 1,460,522,026 | 1,422,726,522 |
| 1万口当たり基準価額 (円) | 10,000 | 9,711 |

※当作成期間中（第30期～第31期）において追加設定元本は133,136,065円
同解約元本は 147,052,191円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先として他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】は、組入ファンドの発行地を表示しています。

290775

2024年9月9日現在

組入上位ファンドの概要

次世代米国代表株マザーファンド

基準価額の推移

2024年3月7日～2024年9月9日



1万口当たりの費用明細

2024年3月8日～2024年9月9日

| 項目 | 当期 | |
|-----------------------------|-----------------|-----------------------------|
| | 金額(円) | 比率(%) |
| (a)売買委託手数料 (株式) | 31 (31) | 0.056 (0.056) |
| (b)有価証券取引税 (株式) | 0 (0) | 0.000 (0.000) |
| (c)その他費用 (保管費用) (その他) | 3 (3) (0) | 0.005 (0.005) (0.000) |
| 合計 | 34 | 0.061 |

期中の平均基準価額は、54,735円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

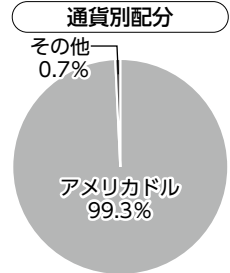
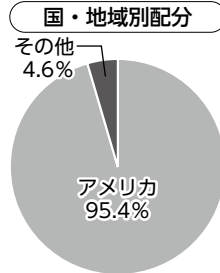
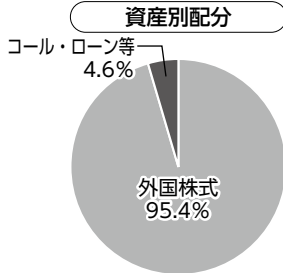
(組入銘柄数：30銘柄)

| | 銘柄 | 種類 | 国・地域 | 業種／種別 | 比率(%) |
|----|-------------------------|----|------|------------------------|-------|
| 1 | UNITEDHEALTH GROUP INC | 株式 | アメリカ | ヘルスケア機器・サービス | 8.5 |
| 2 | GOLDMAN SACHS GROUP INC | 株式 | アメリカ | 金融サービス | 8.3 |
| 3 | MICROSOFT CORP | 株式 | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 7.4 |
| 4 | AMAZON.COM INC | 株式 | アメリカ | 一般消費財・サービス流通・小売り | 7.4 |
| 5 | AMERICAN EXPRESS CO | 株式 | アメリカ | 金融サービス | 6.2 |
| 6 | AMGEN INC | 株式 | アメリカ | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 5.3 |
| 7 | CATERPILLAR INC | 株式 | アメリカ | 資本財 | 5.0 |
| 8 | TJX COMPANIES INC | 株式 | アメリカ | 一般消費財・サービス流通・小売り | 4.5 |
| 9 | VISA INC-CLASS A SHARES | 株式 | アメリカ | 金融サービス | 4.4 |
| 10 | INTUITIVE SURGICAL INC | 株式 | アメリカ | ヘルスケア機器・サービス | 3.9 |

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドの参考指数である『ダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、円ヘッジ・円換算ベース）』について

ダウ・ジョーンズ工業株価平均（ダウ工業株30種）とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY（ニューヨーク）ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、円ヘッジ・円換算ベース）は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● JPMオルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMオルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント